

■重要■ パワーストーンの形状と役割について

パワーストーンは形状別に、主に3つの役割がございます。
正しくお使い頂くために、念のため復習の意味も兼ねてご一読下さい。

① 身に付けるタイプ (ブレスレット・ネックレス・ペンダントなど)



肌に直接触れているため、装着者の心身に直接石の波動が伝わります。装着者の気の浄化やプラス波動の増幅を促進しますので、体内に蓄積したマイナスの気や不安定な波動を軽減して運気を高めやすい体質を形成します。また、右脳・第六感を活性化して潜在能力を引き出す役割をもちます。さらに体内だけでなく体外において、外から向かってくる不安定な波動から防御をする役割ももっています。

② 持ち歩くタイプ (丸玉・カボション・携帯ストラップなど)



肌に接しておりませんので持ち歩いている本人の心身内部に対しての働きはありません。邪気除け・霊障除け・方位除けなど外から向かってくるマイナスの気や不安定な波動から身を守る役割がメインとなり、「守護石」としての働きに特化します。例えばブレスレットのように身に付ける形状のアイテムであっても、装着をせずに持ち歩いた場合には同様の働きとなります。仕事の関係でブレスレットなどを身につけることができない方は持ち歩くタイプを使われるケースが多いですが、その場合でもときどき手のひらで握って直接接触するようにしますと石の信号をキャッチしやすくなり、体内に対しても波動が伝わります。

③ 置物タイプ (原石・丸玉・さざれ・ドームなど)



置いた場所（家宅や事務所）の風水バランスを整えようとして働きますので、家宅や事務所の波動を高めて運気が育ちやすい環境を作り出します。特に玄関は気の入口であり、気は玄関から入って右回りに家宅内を巡りますので、玄関に置きものタイプのパワーストーンを置くことでフィルターの役割を果たし、綺麗で活性化された気が各部屋に行き渡ります。もしも玄関に置くスペースがない場合にはリビングでも結構ですが、その場合もできるだけ玄関に近い位置を探して下さい。パワーストーンによって浄化された空間で過ごす人は、体内のマイナスの気や不安定な波動を浄化されますので、結果として間接的に身に付けるのと類似した作用が働きます。また、水晶原石や水晶ポイントの上にブレスレットやネックレスを乗せて浄化することも可能です。ブレスレットを装着しても効果が現れにくい場合には、家相が不安定であるケースが考えられますので、その場合には置物タイプで風水バランスを整えて下さい。